



双塔

カトリック新潟教会

2024年10月
No. 436

カトリック新潟教会史 概観（現聖堂献堂まで）

主任司祭 田中 丈夫

三年後の2027年9月18日、カトリック新潟教会聖堂は献堂100周年を迎える。教会はどのような時代を航海してきたのだろうか。文献を読み、以下のような略年表を作ってみたのだが、明治・大正という時代の荒波を乗り越え、昭和のはじめ、暗雲が立ち込める中、大きな帆を広げて風（プネウマ）を受け、再出航した教会の姿を思い描くことができたように思う。航海はこれからも続くのである。

略年表

1830年代パリ外国宣教会はローマ教皇庁から朝鮮半島の宣教を委託され、日本宣教も視野に入れた。

1859年～1904年までパリ外国宣教会は単独で日本全土の宣教を担当した。

1868年（明治元）11月19日 新潟港開港。

1870年（明治3）パリ外国宣教会のアンプルステル神父、新潟視察のため新潟港に入港（函館から）。

1875年（明治8）10月 パリ外国宣教会ドルワール・ド・レゼー神父が新潟に着任。

1876年 布教聖省は日本を南北二つの代牧区に分割し、北海道から中部地方までを北緯代牧区、近畿地方より西の地域を南緯代牧区とした。それまでは、全国が一つの代牧区であった。（代牧制度とは教会制度が整備されていない宣教地に教皇が代牧区を設定して代牧を送る制度。代牧は教皇直属で教区司教に準ずる権限を与えられ名義司教に叙階された。）

1882年（明治15）8月 ドルワール神父、現在の新潟教会の敷地を50年の契約で借りる。

1885年（明治18）頃、新潟教会（聖母ご誕生の教会）聖堂献堂式。（現在の新潟教会の敷地に聖堂を建立）

1889年（明治22）現在の新潟教会の敷地1,600坪を購入。

1891年 日本カトリック教会は、4つの代牧区がそれぞれ、東京大司教区、函館司教区（北海道と東北6県と新潟県）、大阪司教区、長崎司教区に昇格し、制度的に確立した。（《しかし、日本の宣教は1890年代から停滞し、20世紀初頭には行き詰まりの様相を呈して》いたという。停滞の要因として、《第一バチカン公会議精神の導入や日本社会における日清・日露戦争によるナショナリズムの盛り上がり、不平等条約改正に伴う「内地雑居」》によって起こる変化への恐れ、等、が考えられる、という。）

1904年 四国知牧区、1912年新潟知牧区、1922年名古屋知牧区、1927年鹿児島知牧区、1923年広島代牧区が新設された（布教聖省）。（教皇庁は、パリ外国宣教会による単独司牧体制を見直し、日本宣教の変革に踏み切った。それは、宣教団体の多国籍化と高等教育機関設立の推進という形で示された。）

1907年（明治40）函館教区司教は秋田県、新潟県、山形県の宣教司牧を神言会に委託した。

1908年（明治4）神言会のウェイク神父、旭町2番町の砂丘の上の土地を購入。「山の教会」建築。

1908年（明治41）9月4日 新潟大火。新潟教会（聖母ご誕生の教会）聖堂焼失。

1912年（大正元）8月13日 新潟知牧区設立。

1914年（大正3）7月28日 第1次世界大戦勃発。 1923年（大正12）9月1日、関東大震災

1925年（大正14）新聖堂建設資金のため、「山の教会」が建っていた旭町2番町の教会所有地を売却。

1927年（昭和2）9月18日 大聖堂献堂式（現聖堂）。

1928年 双塔の鐘楼にお告げの鐘、設置。1929年 聖堂にパイプ・オルガン設置。

1939年（昭和14）9月1日、第2次世界大戦勃発。 1941年（昭和16）12月8日、太平洋戦争勃発。

1945年（昭和20）4月 新潟教会施設は疎開してきた東京陸軍軍医学校に接收される。

1945年（昭和20）8月15日 太平洋戦争終戦。

1962年（昭和37）4月16日 新潟知牧区が、司教区に昇格。

1962年（昭和37）～1965年 第二バチカン公会議開幕。 1964年（昭和39）6月16日 新潟大地震。

※参考文献〔斎藤清著『新潟カトリック教会史襍筆（新潟カトリック教会献堂80周年記念誌掲載）』、三好千春著『時の階段を下りながら－近現代日本カトリック教会史序説』〕

インフォメーション!

●ルルド 70 周年（小教区評議会）

昭和 29 年 8 月 15 日に完成したルルドは今年で 70 周年を迎えました。10 月はロザリオの月にあたります。主日 9 時半ミサの前に感謝をこめてロザリオの祈りを捧げましょう。

●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

- ①センター掲示板おしらせに掲載しています（外壁ガラス掲示板）のでご覧ください。
- ②「おしらせ」のある方は、9 時半主日ミサでのお知らせと掲示板の貼り出し、月刊双塔への掲載をお願いします。（広報部アドレス：soutou1656@gmail.com）

●入門講座 主任司祭 田中神父にご相談ください。

●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前 10 時～、午後 7 時～ 会場 カトリックセンター研究室
指導 田中神父

●信仰養成講座—秘跡について

日時 毎月第 2 土曜日 午前 10 時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 田中神父

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会；野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 10 月 7 日(月)、11 月 18 日(月)、12 月 9 日(月)

但し、都合により予定が前後する場合があります。ご了承ください。

時間 午前 11 時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

●成井司教の新潟教会公式訪問日決定

成井司教様が新潟教会を公式に訪問される日が今年 11 月 10 日(日)に決定しました。ミサ後には信徒との交流の時間も予定されています。

●「フードバンクにいがた」支援にご協力ください（新潟カトリック女性の会）

「フードバンクにいがた」支援のため、食料品や日用品を募集します。

受付：9 月 1 日～10 月 13 日までの日曜日 9:30 ミサ後

品目：①食料品 常温保存可能で未開封の食品。消費期限が 10 月 17 日以降のもの。

（米、缶詰、レトルト食品、麺類、調味料、菓子、飲み物など）

②日用品 使用頻度が高く消費量が多いもので未使用の商品（洗剤、トイレトペーパー、生理用品、衛生用品など）

●献堂 100 周年記念事業実行委員会が発足しました

2027 年に献堂 100 周年を迎える準備のため、7 月 28 日に実行委員会が発足しました。信徒の皆様には報告書を配布していきますので、ご覧ください。現在第 1 号を配布中です。

●「異人池茶の間」～語らいの場～

センター 1 階の研究室にて。インスタントコーヒー、紅茶、日本茶をセルフサービスでのご提供、無料で楽しめます。ぜひお立ち寄り下さい。楽しいひとときを分かち合いましょう。

●双塔「王であるキリスト号」への原稿を募集します（広報部）

11 月 24 日に発行する双塔への原稿をお寄せください。特集は「洗礼」。洗礼を受けた日の思い出や幼児洗礼の後日談などのエピソードをお寄せください。特集以外にも日頃感じていることを“思いのままに”お寄せください。聖堂後方の募集箱またはメールでも受け付け中。

400 字×5 枚以内（約 2000 字以内）をお願いします。短くても大丈夫です。

◆メールアドレス：soutou1656@gmail.com ◆締切 10 月 13 日(日)

2024年10月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
4日(金)	・ミサ 10:00 (初金)
6日(日)	年間第27主日 すべてのいのちを守るための月間 (9/1~10/4) ・ロザリオの祈り (9:00 ルルド前・雨天聖堂) ・フードバンクにいがたへの寄付品募集 (~10/13 まで) ・小教区評議会 (9:30 ミサ後) ・英語ミサ (12:00) ・清掃日 (センター、外のトイレ; 英語ミサ後) ・ベトナム語ミサ (13:00) ・地区協 (13:00)
12日(土)	・信仰養成講座一秘跡について (10:00 研究室)
13日(日)	年間第28主日 ・ロザリオの祈り (9:00 ルルド前・雨天聖堂) ・総務部会 (9:30 ミサ後 研究室)
18日(金)	聖ルカ福音記者 (祝日)
20日(日)	年間第29主日 世界宣教の日 (献金) ・ロザリオの祈り (9:00 ルルド前・雨天聖堂) ・国際協力部会 (9:30 ミサ後 事務局) ・広報部会 (9:30 ミサ後) ・教会維持費の整理 (9:30 ミサ後 事務局) ・清掃日 (聖堂、外のトイレ、センター; 9:30 ミサ後)
27日(日)	年間第30主日 ・ロザリオの祈り (9:00 ルルド前・雨天聖堂) ・献堂100周年記念事業実行委員会 (9:30 ミサ後 研究室)
28日(月)	聖シモン聖ユダ使徒 (祝日)

※ ミサ時間

日曜日 (7:00、9:30) 英語ミサ (第1日曜 12:00)

ベトナム語ミサ (第3日曜 12:00) ★10月のベトナム語ミサは第1日曜になります。

火曜~木曜、土曜 (7:00) 金曜 (10:00)

★月曜日朝7時からのミサは、しばらくの間休止します。

★朝ミサは休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

